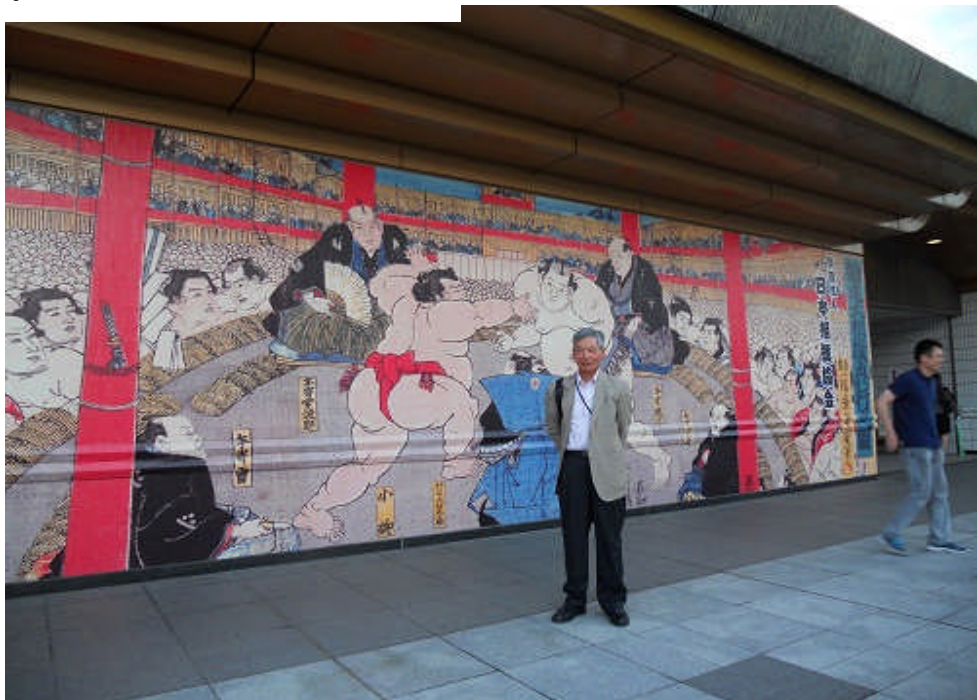


東京紀行

行本 章允 OHK-OB

民放クラブ総会出席（久米田支部長の代行）のため上京するのを機会に、話題の東京スカイツリーなどを見学しました。

総会開催日の前日の5月10日に東京へ。埼玉にいる甥がゲットしてくれたスカイツリー記念634円大相撲チケット（スカイツリーの高さ634メートルに因んでのチケット）で相撲を楽しみました。ウイゲーの5月場所5日目とあって両国国技館は6分の入り、おかげで2階椅子指定席で見物できました（634円チケットは2階最後部の席）係の人も見物見ぬよう周りは外国人が多く、英語、フランス語、中国語、韓国語等々が飛び交い、2階席はさながら大相撲国際場所？のようでした。



さて翌 11 日の金曜日、総会は 13 時開会なので、午前中、東京スカイツリー・東京ゲートブリッジ（江東区若州と東京湾中央防波堤外側埋め立て地を繋ぐ長さ約 3 キロの連絡橋）見物観光バスに乗りました。東京駅丸の内を出発し浅草、スカイツリー、ゲートブリッジ等々を周って丸の内へ帰ってくる 3 時間のバスツアーです。



この日は前日（10日）の雨模様とは打って変わって快晴。東京の空に伸びるスカイツリーをバスの展望窓から見上げました（スカイツリーは 5 月 22 日オープン）スカイツリーのある東京・墨田区は下町情緒溢れる街ですが、スカイツリーで街の様相は一変。若者の街、東京・原宿のような賑わいでした（スカイツリー開業前の平日でも、東京はやはりどこも多いですね）。

スカイツリーの次はゲートブリッジへ。バスを降りて高さ 87m の橋の中央部までのウオーク。橋からはスカイツリーは勿論、東京タワーも望め、心地よい薫風を受けながらのツアーを満喫しました。

「スカイツリー往事消えゆく業平忌」

